

令和7年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業NO.1]

小規模企業景気動向調査 第3四半期 (R7年10~12月)

①業種及び地域別景気動向

業種	製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
	食料品等	機械金属		耐久消費 その他	食料品	外食	旅館	理美容 その他	運輸
町内	売上額	→●	↗●	↖↘	↗●	↗●	↖↑	→●	→●
	仕入単価	→↑	→↑	→↑	→↑	→↑	→●	↖↑	↖↑
	採算	↖↑	↗●	→↖	↖↖	↗●	↗●	↖↑	↖↖
	資金繰り	↖↑	→●	↗●	↖↖	→●	↗●	↖↖	↗●
	業界の業況	→●	↗●	↖↖	↖↑	↗●	→●	↖↑	↗↖
北信	→改善		→改善	↖不变		→悪化	↖悪化		→改善
県内	足踏み状態が続いた								
全国※	↗-23.5	↗-3.7	↗-30.3	↖-19.4	↖-19.9	↗5.1			

(※ 景況DI値で表示、十値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

中国人の宿泊客は元々少ない為か、彼国の自粛政策の影響は殆ど無い（民宿業）

物価高騰に際限が無く将来の経営に不安しかない。（建材卸）

日常の商売については安定しているが、新規の顧客開拓は現状では難しい（理美容業）

元請け工事受注について外注費の高騰で利幅が出ない、また消費税の負担も大きい（大工業）

《北信》

農家の減少により原料が不足しているため、仕入価格が高騰している。（食料品製造）

改修工事の受注はあるが、新築工事の受注が少ない。（一般建築）

最低賃金上げや資材等上げで売値上げも追いつかずの状況（果樹卸）

《県内》

個人は底堅く推移

《全国》

産業全体：業種間に差はあるものの、年末需要が追い風になった

製造業：食料品関連が牽引、回復基調への転換が期待される

建設業：前月から一転して全DIが低下、持続的な改善に課題が残る

小売業：年末需要で一時的な持ち直しも、先行き慎重

サービス業：年末需要が下支えし、持ち直しの兆しが見られる

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」